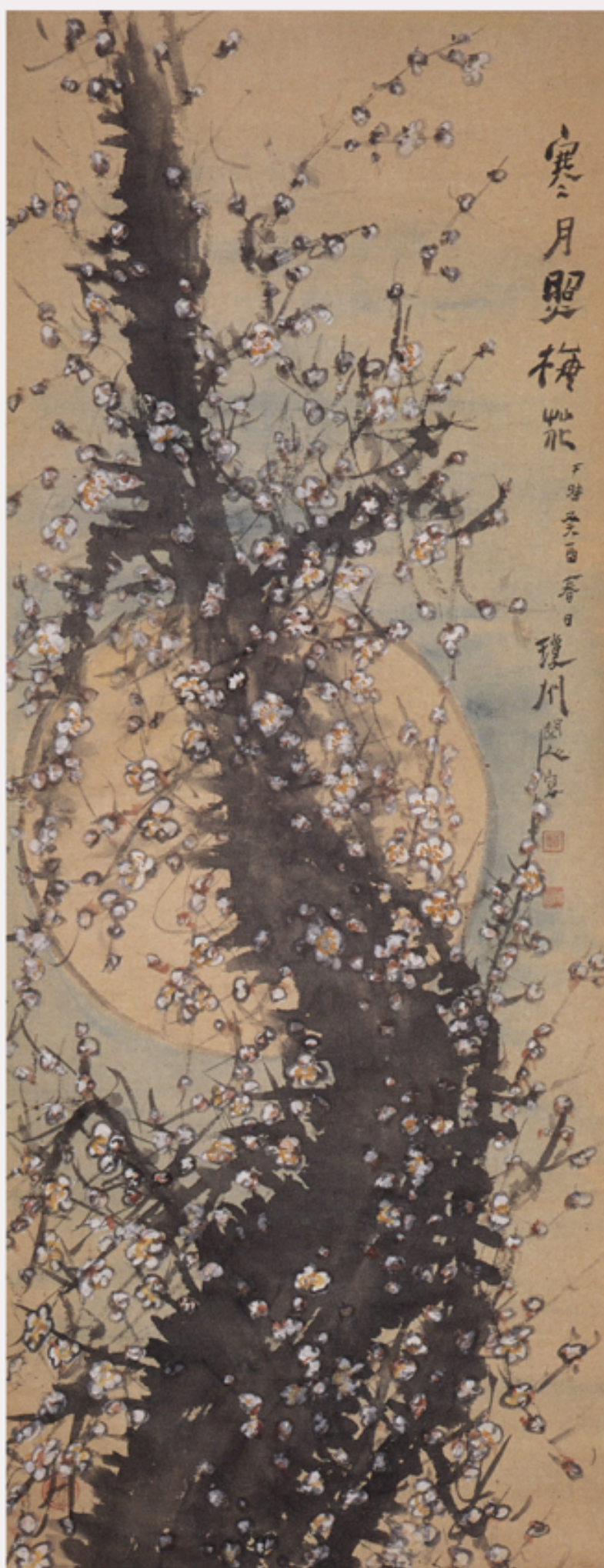


# コレクシヨン展Ⅱ

# 尾道市立美術館



文人画家  
楠瓊州  
を中心に

平成30年12月1日(土)～平成31年1月20日(日)

[開館時間]午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)  
[休館日]月曜日(祝日は開館)、12月29日(土)～平成31年1月3日(木)  
[観覧料]一般300円、高・大生200円、中学生以下無料 ※団体(20名以上)は各50円引  
※70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料  
[主催]尾道市立美術館

楠瓊州「寒月照梅園」 昭和8年(1933)

こころなみ  
COCORONOMICHI

尾道市立美術館  
ONAMI  
MUSEUM  
OF ART  
7-722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内 Tel.0848-23-2281



日本遺産

# 尾道市立美術館 コレクション展Ⅱ

文人画家  
楠瓊州  
を中心に

気候温暖で風光明媚な尾道は、古来より天然の良港として発達し、江戸時代には、その経済・文化を求めて、田能村竹田や浦上春琴らの多くの文人墨客が訪れました。

尾道ゆかりの文人画家・楠瓊州は、明治二十五年（一八九二）、尾道に生まれ、高等小学校を卒業後、京都の南画家 服部五老の内弟子になって南画を学びました。富岡鉄斎に憧れて、その画風に大きな感化を受けたほか、浦上玉堂・田能村竹田ら、江戸期の文人に深く傾倒したと伝えられています。

瓊州は、自由奔放に南画を描き、洗うがごとき赤貧のうちに生涯を終えた孤高の文人であり、没後、評価が高まった画家でもあります。

本展は、瓊州の代表作である「菊花図」をはじめとする所蔵品の展覧を通じて、その画業を顕彰しようとするものです。その他、小林和作、森谷南人子など尾道を代表する作家の優品を展示すると共に、当館所蔵の作品の中から文人達がこよなく愛した尾道水道を描いた作品の数々もご紹介いたします。

## 〔関連行事〕

ギャラリー・トーク ※当館学芸員が担当

日時：12月16日(日) 14時～(40分程度)

対象：一般。参加無料・申込み不要。

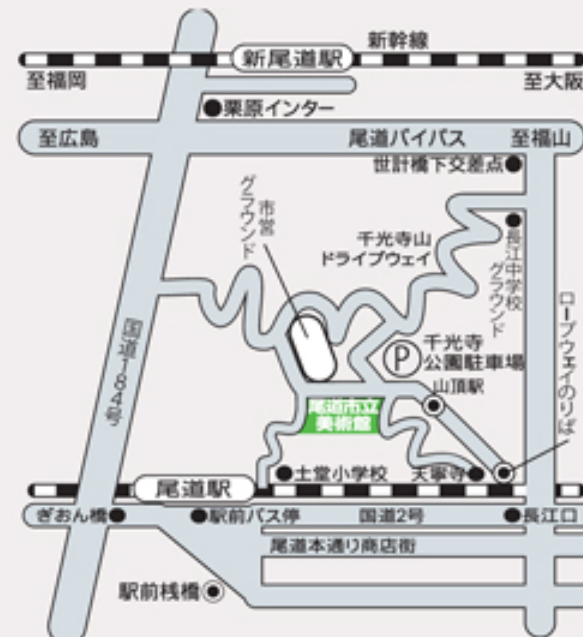
ただし展覧会観覧料が必要です。

## 〔交通案内〕

●JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。

●お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。

●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。



楠瓊州「菊花図(屏風)」 昭和24年(1949) 紙本着色



林寅山「尾道浦絵屏風」 紙本着色・六曲一隻



森谷南人子「桃花如々」 昭和15年(1940) 紙本着色



中村琢二「尾道水道の印象」 昭和53年(1978) 油彩・カンヴァス

## 〔次回展覧会〕

「第15回 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 卒業制作展」  
会期：平成31年2月8日(金)～2月17日(日) 会期中無休

尾道市立美術館公式HP <https://www.onomichi-museum.jp/>  
twitter(随時更新) @bijutsu1

ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART 尾道市立美術館  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281